

令和4年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第9号 (12月予報)

○向こう1か月の天候の見通し (令和4年11月17日発表：沖縄气象台)

平均気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○12月の発生予報 (沖縄群島)

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		11月の発生量 (平年比)	11月からの 増減	12月の発生量 (平年比)	
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ・イネヨトウ) (夏植え)	多	↗	多	平年の発生量の推移 (↗)
(かんづか)	① ハダニ類	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移 (→)
マンゴー	① ハダニ類	並	↘	並	平年の発生量の推移 (↘)
キャベツ	① コナガ	並	→	並	平年の発生量の推移 (→)
	② チョウ目幼虫	並	↘	並	平年の発生量の推移 (↘)
レタス	① 菌核病	(発生なし)並	→	並	平年の発生量の推移 (→)
	② アブラムシ類	(発生なし)並	↘	並	平年の発生量の推移 (↘)
ゴーヤー(施設)	① うどんこ病	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
	② ミナミキイロアザミウマ	やや多	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
	③ タバココナジラミ	並	↘	並	平年の発生量の推移 (↘)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※(発生なし)は、今回の調査中に観察できなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量(現況)と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○12月の発生予報つき（沖縄群島）

作物	病害虫名		調査結果	予報		予報の根拠
			11月の発生量 (平年比)	11月からの 増減	12月の発生量 (平年比)	
ピーマン（施設）	①	ミナミキイロアザミウマ	やや多	↓	やや多	平年の発生量の推移（↓）
	②	ヒラズハナアザミウマ	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移（→）
	③	タバココナジラミ	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移（→）
（施設）トマト	①	タバココナジラミ	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
さいやんげん（平張）	①	ミナミキイロアザミウマ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	②	タバココナジラミ	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）
	③	ホコリダニ類	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンガ	かいよう病・枝枯細菌病 炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるので、ほ場外へ持ち出し処分する。防除暦に基づき予防散布に努める。
	カイガラムシ類	せん定枝や残さは発生源となるので、ほ場外へ持ち出し処分するとともに、早期発見・防除に努める。
キャベツ	カタツムリ類	・本種は極めて雑食性で、葉の柔らかい部分を食害し、被害ははじめ孔があき、後に葉脈だけが残って網目状になる。多湿なところを好み、結球内の葉と葉の間や株元に潜む。 ・一般的には昼間活動が少なく夜間活動するが、曇天少雨の日は昼間でも活動するので、潜伏場所を含め広域に探索し捕殺を行う。
レタス	カタツムリ類	・本種は極めて雑食性で、葉の柔らかい部分を食害し、被害ははじめ孔があき、後に葉脈だけが残って網目状になる。多湿なところを好み、結球内の葉と葉の間や株元に潜む。 ・一般的には昼間活動が少なく夜間活動するが、曇天少雨の日は昼間でも活動するので、潜伏場所を含め広域に探索し捕殺を行う。
（施設）マニ	チャノホコリダニ	一部施設で多発生がみられた。 25℃での卵から成虫までの発育期間は7～11日と短く、短期間のうちに高密度になりやすいため、早期発見・防除に努める。また、薬剤が到達しにくい生長点付近や未展開葉に潜っているため、葉散は丁寧に行う。

令和4年度 宮古群島 病害虫発生予報 第9号 (12月予報)

○向こう1か月の天候の見通し (令和4年11月17日発表：沖縄气象台)

平均気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○12月の発生予報 (宮古群島)

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		11月の発生量 (平年比)	11月からの 増減	12月の発生量 (平年比)	
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマ キ・イネヨトウ) (夏植 え)	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
マンゴー	① ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移 (→)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※(発生なし)は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量(現況)と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫 (宮古群島)

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンゴー	かいよう病・枝枯細菌病 炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるので、ほ場外へ持ち出し処分する。防除暦に基づき予防散布に努める。
	カイガラムシ類	せん定枝や残さは発生源となるので、ほ場外へ持ち出し処分するとともに、早期発見・防除に努める。

令和4年度 八重山群島 病害虫発生予報 第9号 (12月予報)

○向こう1か月の天候の見通し (令和4年11月17日発表：沖縄气象台)

平均気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○12月の発生予報 (八重山群島)

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		11月の発生量 (平年比)	11月からの 増減	12月の発生量 (平年比)	
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ・イネヨトウ) (夏植え)	やや少	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
	② アブラムシ類	並	→	並	平年の発生量の推移 (→)
かぼちゃ	① ハモグリバエ類	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
	② タバココナジラミ	並	→	並	平年の発生量の推移 (→)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※(発生なし)は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量(現況)と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫 (八重山群島)

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンガ	かいよう病・枝枯細菌病 炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるので、ほ場外へ持ち出し処分する。防除暦に基づき予防散布に努める。
	カイガラムシ類	せん定枝や残さは発生源となるので、ほ場外へ持ち出し処分するとともに、早期発見・防除に努める。

向こう1か月の天候の見通し 沖縄地方（11/26～12/25）

予報のポイント

- 向こう1か月の気温は平年並か高く、特に期間のはじめは、暖かい空気が流れ込みやすいため高いでしょう。
- 気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないでしょう。

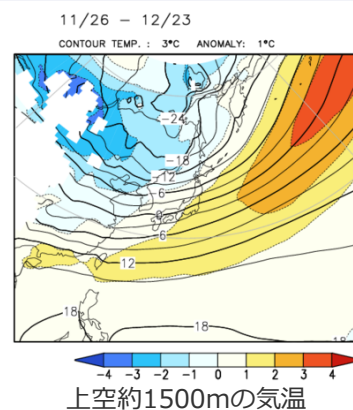
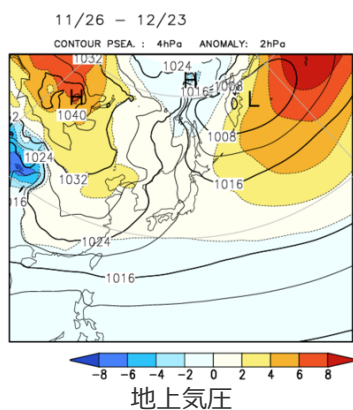
1か月の平均気温・降水量・日照時間

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
沖縄地方	低20 並40 高40% 平年並か高い見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
数値は予想される出現確率（%）です	<p>平均気温（1か月）</p> <p>低い確率 (50%以上) 40% (平年並も40%以上) 高い確率 (50%以上)</p>	<p>降水量（1か月）</p> <p>少ない確率 (50%以上) 40% (平年並も40%以上) 多い確率 (50%以上)</p>	<p>日照時間（1か月）</p> <p>少ない確率 (50%以上) 40% (平年並も40%以上) 多い確率 (50%以上)</p>

数値予報モデルによる予測結果

1か月平均の地上気圧（左図）は、シベリアから華南にかけては平年より高いですが、九州南岸から沖縄付近では平年より低く、気圧の谷の影響を受けやすい見込みです。

上空約1500mの気温（右図）は、九州・沖縄付近では平年より高く、寒気の影響を受けにくい予測となっています。



季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

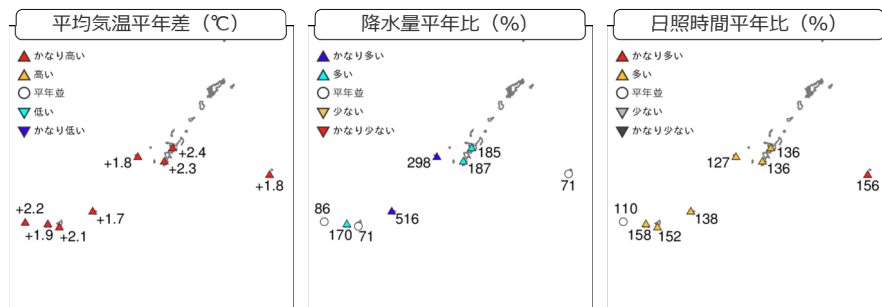
週別の平均気温と天候

	平均気温（1週目） 11/26～12/02	平均気温（2週目） 12/03～12/09	平均気温（3～4週目） 12/10～12/23
週別の天候	気圧の谷や前線及び湿った空気の影 響で雲が広がりやすく、雨の降る日 があるでしょう。	気圧の谷や湿った空気の影 響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日 が多いでしょう。	平年と同様に曇りや雨の日が多いで しょう。
沖縄地方	低10 並10 高80% 高い見込み	低30 並50 高20% 平年並 の見込み	低30 並40 高30% ほぼ平年並 の見込み
数値は予想される出現確率 (%)です	<p>平均気温（1週目）</p> <p>低い確率 (%) 50 40 平年並も40 40 50 高い確率 (%)</p>	<p>平均気温（2週目）</p> <p>低い確率 (%) 50 40 平年並も40 40 50 高い確率 (%)</p>	<p>平均気温（3～4週目）</p> <p>低い確率 (%) 50 40 平年並も40 40 50 高い確率 (%)</p>

明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料 (<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/okinawa1.html>) をご覧ください。文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「参考（[確率予報の解説](#)）」をご覧ください。

最近1週間の天候経過



(実況) 11/17～11/23	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
沖縄地方	+2.1℃ (かなり高い)	216% (かなり多い)	137% (多い)

参考

確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い） 確率が50%以上	高い（多い）見込み
(20 : 40 : 40)	平年並か高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並か低い（少ない）見込み
低い（少ない） 確率が50%以上	低い（少ない）見込み

気温・降水量・日照時間等の平年値につきましては、次のページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/okinawa1.html>



天気日数（晴れ日数及び降水日数）の平年値につきましては、次のページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/tenkinissuu/tenkinissuu.html>

